

平成25年度事業報告

1. 概要

政府の大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略、いわゆる「3本の矢」の取り組みにより、株価の回復、企業収益の改善、雇用の増加などが見られるものの、その先の労働者の賃上げ、所得の増加に伴う個人消費の増加などが緩やかな事もあり、実体経済の好循環の大きな動きは中々感じられない1年でした。

当センター事業実績において、契約金額は前年度と比べ公共事業で0.6%増とほぼ横ばいでしたが、民間事業で6.0%の減少となり、全体として475万円、2.8%の減となりました。会員数は、高齢などの理由により退会される方が入会される方の数を上回ったため、年度末で374名と前年度に比べ残念ながら28名の減少となりました。

単年度収支では、当初予算で180万4千円の赤字を見込んでおりましたが、事務経費等について節減に努め、77万6千円の黒字に転換することが出来ました。

大変に厳しい状況でありましたが、事業に支障をきたすことなく運営できましたことは、市当局をはじめ市内事業所や市民の方々の大きなご支援並びに役員、会員各位のご努力の賜ものでございます。

本年4月の消費増税の影響も不透明な中で、センターの運営にとって厳しい局面を迎えることが予想されますことから、役員、会員の皆様とともにこの難局を乗り切ってまいりたいと思います。

2. 主な事業内容

(1) 就業機会の提供

平成25年度の実績は、延べ2,520件、契約金額は1億5,983万7千4百円で、前年度に比べて件数は68件、2.8%伸びましたが、金額は475万円、2.8%の減少となりました。また、378人の会員の方々が就業されました。

(2) 会員の増強と普及啓発活動

広く市民、事業所等にセンターの活動や事業内容を周知するため、下記の活動を実施しました。

① 広報「むこう」及びホームページを通じ、また普及啓発チラシを制作し当

センターの活動や事業内容を掲載し、市民や事業所等に対して受注の拡大、会員の増強の普及啓発に努めました。

- ② 10月19日のシルバーの日に合わせ、10月19日にイオン前及びライフシティ東向日周辺において、「会員募集並びに仕事の受注」の街頭啓発を役員により実施しました。また、10月21日には、市民温水プールや市民ふれあい広場周辺において役員5名と53名の会員による除草、清掃ボランティアを行いました。
- ③ 11月16日、17日に開催された「向日市まつり」に出店し、役職員によるシルバー事業の啓発を実施しました。

(3) 安全・適正就業の推進

事務所において「安全標語」を掲示すると共に、会員の方々が安全の意識を常に持ち、より一層安全就業の充実を図るため、安全委員が就業現場を巡回し、事故防止に努めました。

また、適正で公平な就業を推進するため、一人でも多くの会員に就業の機会を提供できるよう未就業会員の解消に努めました。

(4) 講習会、研修会の実施

- ① シニアワークプログラム地域事業（SP事業）を京都府シルバー人材センター連合会と連携して、高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的に6名の参加を頂き、「ハウスクリーニング・日常清掃講習会」を開催いたしました。
- ② 会員の日常生活や就業途中での交通事故の防止を目的として、向日町警察署員を講師に招き、「安全な自転車運転・自転車シミュレーションによる模擬運転」について交通安全講習会を実施しました。

(5) 歳末おかたづけ応援隊事業の実施

11月中旬から12月25日までの間、地元福祉団体と協力し、生活支援を必要とする高齢者世帯のニーズへの対応として、歳末おかたづけ応援隊事業を実施しました。